

二次(完成)原型型起し



今回はパジコのラドールを用いて二次(完成)原型の型を起こします。
準備するものは粘土板、し棒、へら、水等です。



粘土を石膏型の型に合わせ大体の形に整え、のし棒で厚さ3~4ミリ程度のタタラ(薄くした粘土)に伸ばします。粘土が重ならないようにひだを取りながら、伸ばしたタタラを型の内側に入れていきます



型の深い部分までタタラが入ったら、型の内側の縁で粘土を押しえ、余分な粘土を取り除きます。指の腹や脱脂綿などを用いてしっかりと押しえます。このとき粘土を「締める」様な感じで押しえます。鼻先など深い部分には上から粘土を足すこともできます。全体に粘土が型になじんだら、粘土の断面を写真のようにつまむようにして平らに整えます。裏面も同様にします。



次にドベ(水でゆるめた粘土)を作り型を貼り合わせます。
 粘土を水に浸けよく練り合わせます。写真のようにツノが立つくらいの硬さが適当です。
 ドベを粘土の断面にのせていきます。縁のへりから内側にこそぎ落とすようにするとうまくのります。
 2~3ミリほど盛り上げてください。
 裏面も同様にドベをのせ、型がずれないように気をつけてしっかりと合わせます。
 粘土は型の中で乾燥させたほうが収縮や歪みが少ないので、時間があれば1週間位この状態で放置します。



手先足先など厚みの薄い型や型起こしでは入れにくい場合は、粘土を塊のまま型に入れ伸ばします。
 この場合は「込める」といいます。ドベをのせて型を合わせる手順は型起こしの場合と同様です。
 これで型起こしの作業は終了です。

二次(完成)原型型起し